

分科会A 職員のグローバル化を考える

～グローバル化を支える人事制度・事務組織などについて～

グローバル化を推進する取り組みと課題

～国際連携機構がリーダーシップを発揮できる体制づくり～

総務部人事企画課

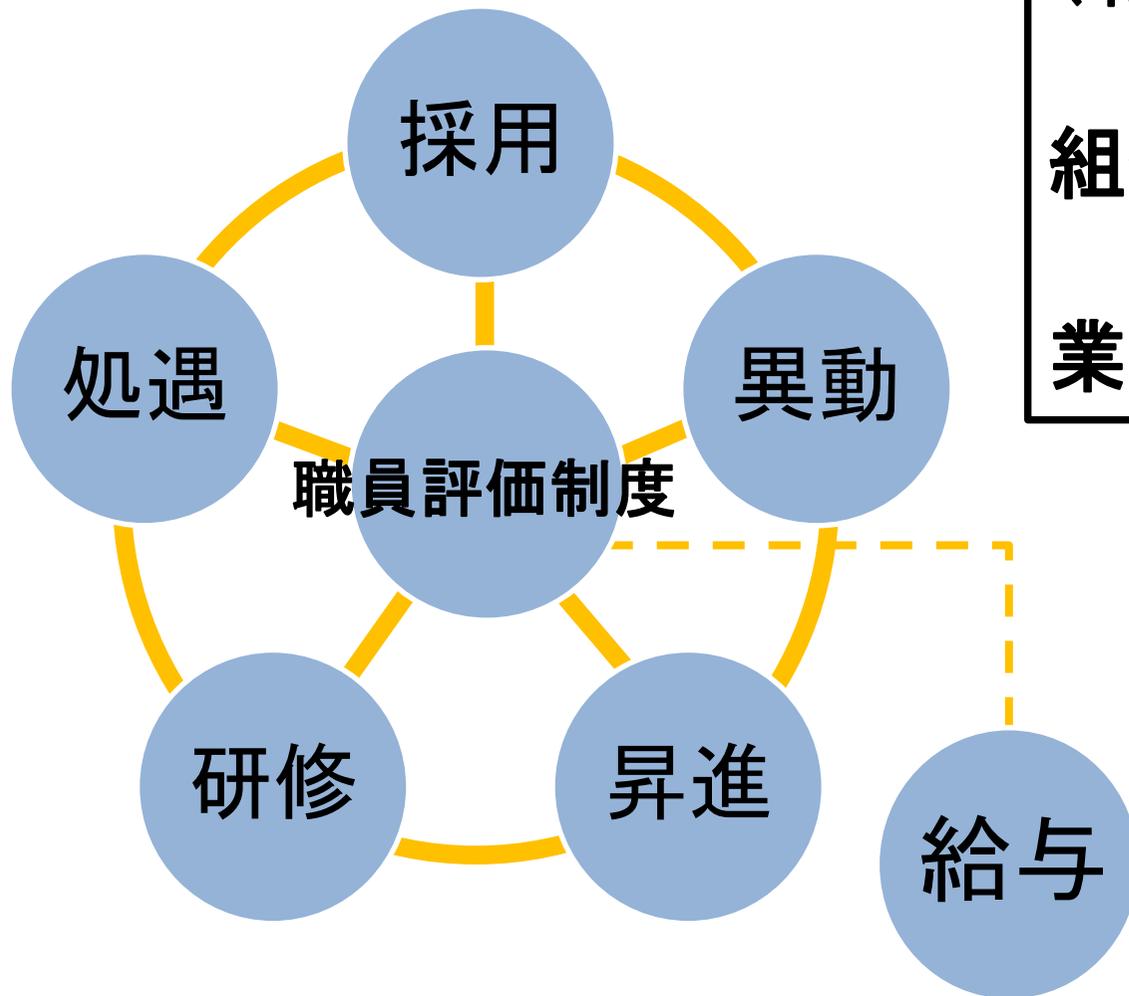
人事企画係長

堀岡 英利



同志社大学
Doshisha University

人事制度の全体像



人材育成
(職員の能力向上、職能開発)

組織力の向上

業務改善・組織目標の達成

グローバル化を推進する取り組みと課題

1. 同志社大学の教育理念
2. 新学部・研究科の設置
3. 事務組織の改編
4. 事務局長、事務部長の配置
5. 職員評価制度の導入
6. 職員研修制度
7. 今後の課題

1. 同志社大学の教育理念



創立者：新島襄

1864年6月14日、幕末に国禁を犯してアメリカへ

建学の精神：良心教育

教育理念

キリスト教主義

- 精神と品行を陶冶する活力を身につけ、知識の修得だけでなく、良心の涵養を促す

自由主義

- 自ら行動する力を育み、一人ひとりに自分の可能性を気づかせる

国際主義

- 外国語を話せるだけでなく、異なる価値観を受け入れ、そこから「何か」を見出せる人を育む

グローバル化の地盤

2. 新学部・研究科の設置



現在 : 13学部16研究科

2013年度: 14学部16研究科

その他の動向

2006年 同志社小学校 開校

2011年 国際教育インスティテュート
開設

2011年 同志社国際学院
初等部 開校 (4月)
国際部 開校 (9月)

学部

神学部

文学部

社会学部

法学部

経済学部

商学部

政策学部

文化情報学部

理工学部

生命医科学部

スポーツ健康科学部

心理学部

グローバル・コミュニケーション学部

グローバル地域文化学部

研究科

神学研究科

文学研究科

社会学研究科

法学研究科

経済学研究科

商学研究科

総合政策科学研究科

文化情報学研究科

理工学研究科

生命医科学研究科

スポーツ健康科学研究科

心理学研究科

グローバル・スタディーズ研究科

脳科学研究科

司法研究科

ビジネス研究科

2005年

2005年

2004年

2005年

2007年

2008年

2008年

2009年

2011年

2013年

2008年

2010年

2009年

2010年

2012年

2004年

2004年

2. 新学部・研究科の設置

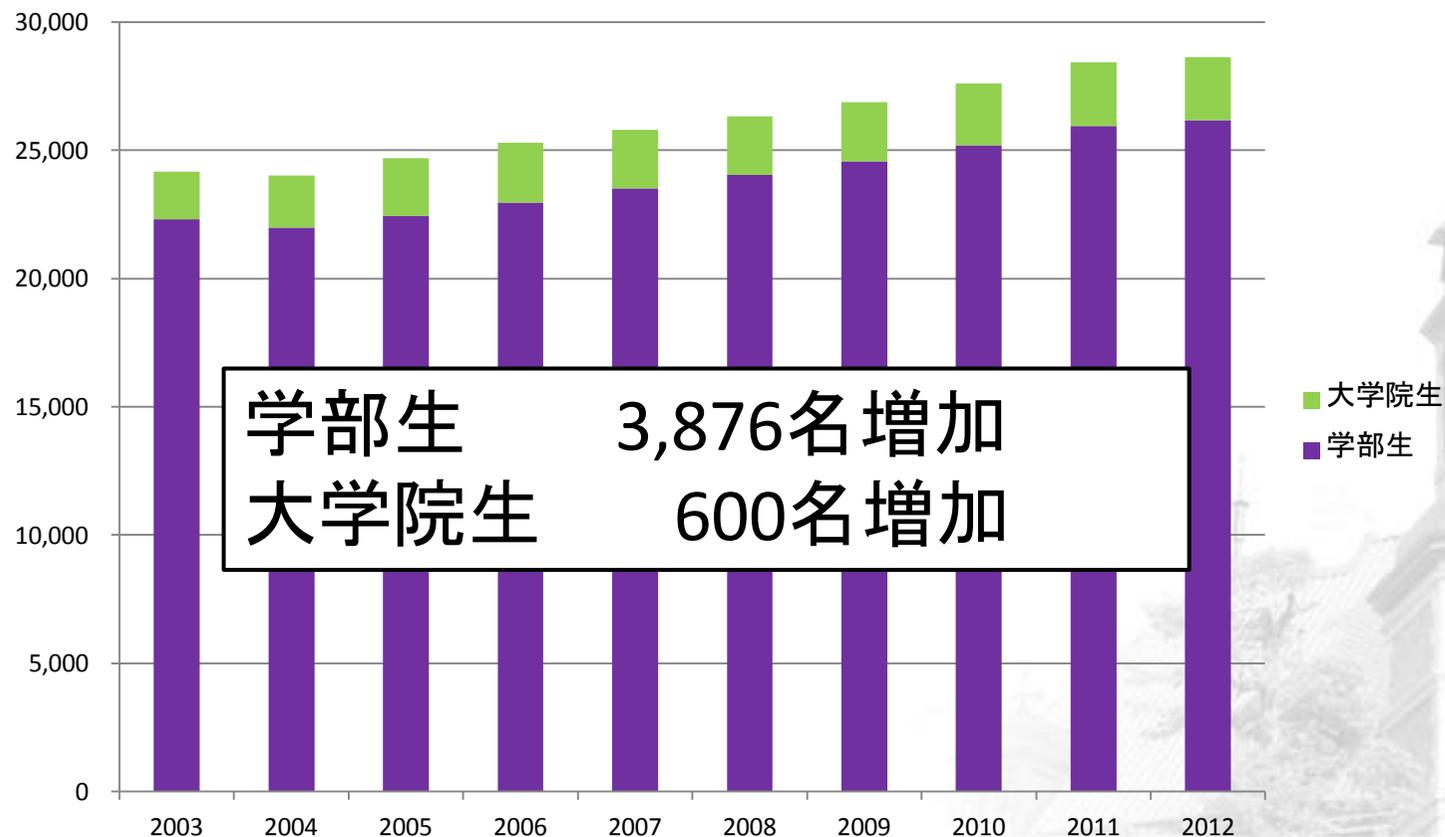
● 学生数

◇ 2003年5月1日現在の学生数
学部生 22,300名
大学院生 1,866名



◇ 2012年5月1日現在の学生数
学部生 26,176名
大学院生 2,466名

◇ 学生数の推移



3. 事務組織の改編

● 教職員数

◇ 2003年5月1日現在

専任教員	482名	嘱託講師	952名
専任職員	298名	非専任職員	321名 (契約職員 105名、非常勤嘱託職員 19名、アルバイト職員 197名)
派遣社員	12名		



◇ 2012年5月1日現在

専任教員	752名	嘱託講師	1,370名
専任職員	336名	非専任職員	433名 (契約職員 108名、非常勤嘱託職員 59名、研究支援員 15名、アルバイト職員 251名)
派遣社員	162名		

3. 事務組織の改編

● 国際連携推進機構について(職員)

2007年度まで

国際センター	国際課
留学生別科(後の日本語・日本文化教育センター)	事務室

専任職員6名
契約／派遣4名
計10名

2008年度～



推進機構	国際センター	国際課
	日本語・日本文化教育センター	事務室

専任職員10名
契約／派遣11名
計21名

2010年度～



推進機構	国際センター	国際課
	日本語・日本文化教育センター	事務室
	国際教育インスティテュート設置準備室	設置業務課
	国際化推進室	事務室

専任職員14名
契約／派遣14名
計28名

3. 事務組織の改編

● 国際連携推進機構について(職員)

2011年4月～(現在)

国際連携推進機構	国際センター	国際課 留学生課	<ul style="list-style-type: none"> ●外国大学との協定に関わる業務 ●海外への留学を考える学生に関わる業務 ●外国人留学生の受入・入試 ●奨学金・アルバイト・生活支援業務
	日本語・日本文化教育センター	事務室	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての外国人留学生に対する日本語・日本文化教育科目の提供および教学支援
	国際教育インスティテュート	事務室	<ul style="list-style-type: none"> ●英語による学士号取得プログラムとその科目の提供および教学支援
	国際化推進室	事務室	<ul style="list-style-type: none"> ●G30,G30+補助事業 ●「訪問留学生受入れプログラム」経理管理 ●海外高校修学旅行等対応 (協定校・有力校・一般PR校別)

◇ 人員配置

国際連携推進機構設置まで(2007年度まで)

専任職員6名、契約／派遣4名
計10名

2012年5月現在

専任職員20名、契約／派遣／非常勤21名
計41名

5年間で人材の投入は約4倍に！

3. 事務組織の改編

● 国際連携推進機構について(教員)

2007年度まで 国際センター所長 1名、副所長 2名



2008年度～

国際連携推進機構 機構長(国際センター所長兼任)1名
副機構長(日本語・日本文化教育センター所長兼任)1名
国際センター副所長2名



2012年度

国際連携推進機構 機構長 1名
副機構長(国際センター所長兼任)1名
国際センター副所長2名
日本語・日本文化教育センター所長 1名
国際教育インスティテュート所長 1名
国際化推進室長 1名

4. 事務局長、事務部長の配置

● マネジメント体制、協力体制の強化



事務局長

部長

事務部長

【管理部門】

- ・総務
- ・京田辺校地総務
- ・財務
- ・施設
- ・キャリアセンター
- ・法人部



学生支援機構

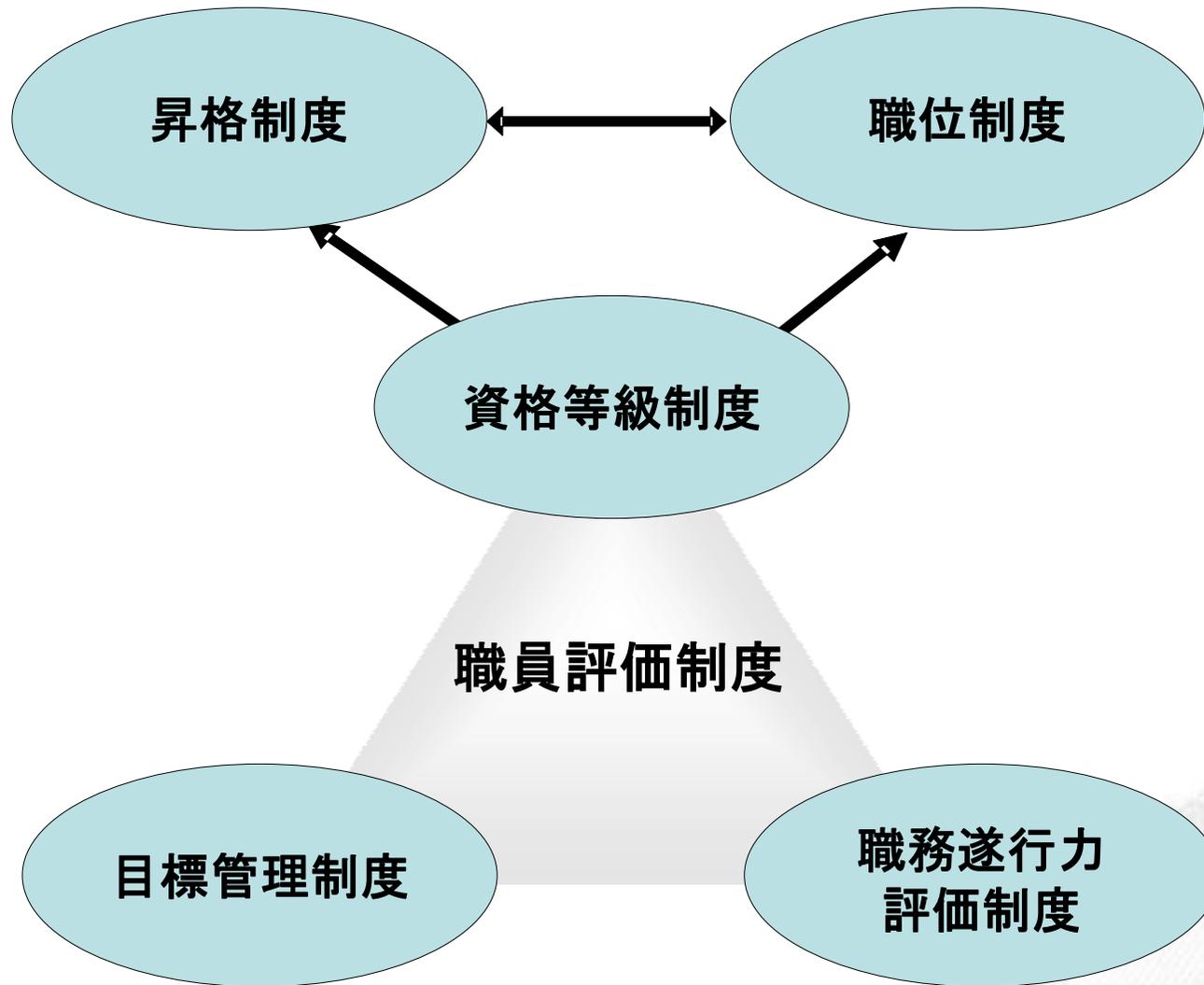
教育支援機構

国際連携推進機構

研究開発推進機構

5. 職員評価制度

● 職員評価制度の導入



6. 職員研修制度

● 本学の研修体系

階層別研修

- マネージャー研修
- リーダー研修Ⅰ
- リーダー研修Ⅱ
- 新任職員研修

目的別研修

- スキルアップ研修Ⅰ（本学主催型）
- スキルアップ研修Ⅱ（学外団体主催型）
- オフタイム研修

経営課題・業務課題研修 （部門別研修）

キャリアデザイン研修

- 学外機関派遣研修（自己設計型）
- 学外機関派遣研修（提携型）
- 自己啓発研修Ⅰ（個人研修助成）
- 自己啓発研修Ⅱ（グループ研修助成）

6. 職員研修制度

● 学外機関派遣研修

<在外研修(自己設計型)>

募集 3名以内
資格 在職3年以上の専任職員

<在外研修(提携型)>

2010年度より実施

・イギリス シェフィールド大学
・中国 復旦大学
募集 各提携先につき1名
資格 在職1年以上の専任職員

海外の大学から職員研修を受け入れる大学に！

7. 今後の課題

- 一定の外国語カスタンダード(TOEIC800点等)を満たす事務職員比率

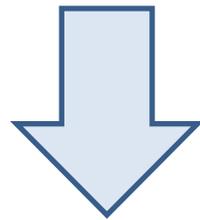
<2012年5月現在>

外国語カスタンダードを満たす事務職員数(A) 36名

【TOEIC800点以上、英語検定準1級以上、新HSK5級以上】

事務系職員数(B) 443名

割合(A/B) 8.1%



採用・研修により割合を高める。

<2016年>

外国語カスタンダードを満たす事務職員数(A) 52名

【TOEIC800点以上、英語検定準1級以上、新HSK5級以上】

事務系職員数(B) 458名

割合(A/B) 11.4%

7. 今後の課題

- 職員のグローバル化にあたっての問題

語学力 < 意識改革

同志社の学生

留学生 日本人学生



同志社の教員

外国人教員 日本人教員



全員同じ扱い・対応をする！

個々の視野のグローバル化が不可欠